

平成26年度予算見積調書

課室名：保健医療政策課

担当名：医学部調査・政策企画担当

内線：3526

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B1	データヘルス推進事業			一般会計	衛生費	医薬費	医薬総務費	地域保健医療計画推進費	
事業期間	平成26年度～平成28年度	根拠法令				戦略項目	03 医療の安心		
						分野施策	010301 生涯を通じた健康の確保		
1 事業の概要	<p>県民の健康維持を図るとともに、医療費の過大な伸びを抑制するため、次のことに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> レセプトデータ等の分析により、糖尿病治療中断者、ハイリスク未受診者へ受診勧奨する。 人工透析移行の恐れがある者に対して、「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」（仮称）に基づき、市町村国保とかかりつけ医が連携して生活指導を実施する。 かかりつけ医と糖尿病専門医が、ハイリスク者の病状を維持・改善するために紹介・逆紹介を適切に実施する「地域糖尿病重症化予防医療ネットワーク」の構築に着手する。 <p>(1) データヘルス推進事業 426千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容 「一病息災」の観点から、糖尿病患者の重症化を予防し、県民の健康維持、医療費の適正化を進める。 426千円</p> <p>(2) 事業計画 データヘルス推進事業 レセプト・健診データの分析を行い、ハイリスク者への重点的な受診勧奨、保健指導を行う。 (H26は10市町村を対象とし順次拡大 国保財政調整交付金(1億1千万円)を活用・民間委託) 糖尿病患者の重症化予防策をきめ細かに行うため、糖尿病専門医・かかりつけ医連携ネットワークの構築に着手する。</p> <p>(3) 事業効果 糖尿病患者への早期指導により人工透析への移行を回避し、医療費を抑制 医療費抑制効果(新規人工透析移行防止 4,500千円/人) H27年度：480,000千円(107人)、H28年度：720,000千円(160人) *平成26年度の事業効果は平成27年度に発現</p>					
2 事業主体及び負担区分	(県10/10)								
3 地方財政措置の状況	なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	@9,500千円×1名=19,000千円								
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	前年との対比
決定額	426							426	426
前年額									